

和歌山スキー協通信

2022. 5. 1 (21-22 NO. 5)

県スキー協3月ツアー

3/19~21、志賀高原。参加者は、池口・伊藤・田辺（シュカブラ）、岸裏一・岸裏睦（ビュースター）・坂本吉・坂本伊（一般）・中岡大（すべりや）の8名。全員でゲレンデ巡りを楽しみました。（14才の坂本伊織くんと、シュカブラの田辺さんに感想を寄せていただきました。）

僕たちは3月19、20、21日の3連休に長野県の志賀高原スキー場に行ってきました。

僕はこれまで野沢温泉スキー場と木島平スキー場にしか行ったことがなかったので、初めて行く志賀高原スキー場にわくわくしました。

着いてみると、とても広く見えているところ全てがゲレンデだと教えてもらい、さらにおもしろさが増しました。そして、三日間で全てのコースを巡ることになりました。

僕はこのとき、ボーゲンしかできなかったので、ちゃんと滑ることができるかとても不安な気持ちになりました。

でも、中岡さんが基本の姿勢から教えてくれました。

さらに、今まで両足を揃えて曲がることができなかつたのが、ちょっとずつできるようになりました。さらに教えてくれた体の使い方を合わせると、簡単に方向転換ができるようになりました。横滑りも教えてくれました。最初は、片足の力を抜くのが怖く感じまし



た。でも、やってみると、怖くはなかつたです。

中岡さんがマンツーマンで教えてくれたので、全コース滑りきることができ、上達することもできたと思いました。三日間みっちり教えて頂き、上達することができました。

ありがとうございました。（坂本伊織）



●コロナ禍初滑り

コロナ禍となつてからの初めてのスキー行でした。

今回は、参加者全員（八人）で、汗をかきながらのスキー漕ぎをも随所に取り入れながらの楽しい?思い出の残るゲレンデ巡り（熊ノ湯・横手山方面を除く）をしました。連休初日は、一ノ瀬でのリフト券購入時及びリフト乗り場も混んで大変でした。そして、焼額にいくと一時的にリフト可動が一つだけということもあって、乗り場も混み合い。その後、焼額ゴンドラ可動開始時になると、乗り場には長い列が出来ていました。

ところで、中岡大さんのワンポイントレッスンの中での“山腕の使い方”では、ターンの楽しみ方をも味合わせて頂きました。今回は、基本姿勢を模索しながらの三日間でした。お世話になりました。

（シュカブラスキークラブ 田邊裕次）



東海・関西競技大会 (3/12・13、野麦峠スキー場)



今シーズンのブロック競技大会は、東海ブロックが例年開催している大会に合流させてもらう形で、はじめて合同で開催されました。

参加者は約 60 名、うち関西からは約 20 名で、にぎやかな大会となりました。

参加者全員に賞状と商品が用意されており、ええもんもらって帰ってきました。

和歌山からは石倉・中岡大の 2 名が参加し、50 才台男子の部で中岡が 2 位、石倉が 4 位となりました。

関西ブロックレベルアップスキー

4/1～3、志賀高原で開かれた関西ブロックレベルアップスキーと検定会に、和歌山スキー協から4名が参加しました。たっぷりの雪にめぐまれ、池口・岸裏一は指導員研修班、石倉はレーシング班、中岡大は検定の事前講習と検定員で、それぞれしっかり滑り込みました。

「ビビりながらのコブ練習」～スプリングレベルアップ研修会に参加して～

今シーズンは、10月後半のオペ後のドクターストップで3月後半にやっと初滑りになり、滑走日数も少ない中での「転け無いように!」との条件付き参加だったので、今回はボール練習を断念して応用・基礎研修会コースに参加しました。

初日の赤木デモの講習は基本技術の確認で、基本を確実に習得することが、大変難しく大変であることがよく分かりました。

ところが、2日目の野瀬技術部長の講習では、いきなり「コブの練習をします」と言われました。僕はコブが大変苦手であり、“いつか何処かでちゃんと練習したい”とは思いつつも、ずっとそれを避けてきていたので、転けまくるのではとビビりながらの、恐る恐るの参加となりました。

まずはコブの無い斜面でリズムよくみんなと同じラインを滑り、コブ作りから始めました。最初は少しずつコブが出来て行く中、リズムを保つ努力をすることで何とか滑れていましたが、コブが深くなっていくと、コースアウトしたり転んだりしてばかりで悔しい思いでした。でも、たまに最後まで滑れた時は気持ち良く、ちょっと楽しく思えました。



「ズルドン滑り」は初心者向けと思っていましたが、「バンク滑り」と「ズルドン滑り」との違いがよく分かりました。そして“ズル・ドン”ではなく、“ズル・ドン・クルッ”までが一連であることも。

3日目もコブ練習で今シーズンの締めとなってしまいましたが、来シーズンからも少しずつコブ滑りを練習したいと思っています。

(ビュースター 岸裏一起)

総会のお知らせ

和歌山県勤労者スキー協議会の第44回定期総会を下記の通り開催します。

日時 2022年7月24日（日）午後1時30分～

会場 和歌山市北コミュニティーセンター

※3年ぶりに対面での開催を予定しています。会員のみなさん、ご参加よろしく申し上げます。

和歌山のメンバーはどこに？

前号の「スキーメイトに和歌山のメンバーが」について、全問正解者は現れませんでした。出題者が見落としていた写真（下線）にも和歌山のメンバーが写っているとのマニアックな指摘がありました。お詫びして訂正するとともに、豪華なお祝いの言葉を贈ります。「岸裏さん、すご〜い！」

答え（ページ数は、表紙を1ページ目と数えています）

- P. 3 上の写真に中岡大・辻本（同じ写真が目次にも）、下の写真に中岡
- P. 4 上に中岡、2段目に中岡・辻本、下段右池田クラスに辻本、下段中に中岡
- P. 5 上から2段目のトレーンに中岡、下から2段目野瀬クラスに中岡滉
- P. 8 上と2段目の写真に辻本
- P. 10 の記事、池口
- P. 11 参加者の感想—岸裏、ZOOM画面に池口・辻本・中岡（同じ写真が目次にも）
- P. 18 高橋さんの感想の中に中岡の名前
- P. 19 参加者の感想—中岡滉（写真と感想）
- P. 31（裏表紙裏）全国競技大会チラシの中の左上から3段目の写真に石倉・岸裏睦子

※「スポーツのひろば」4月号の裏表紙に、和歌山スキー協2月ツアーの写真が載っています（上から2段目右）。その下の野麦峠スキー場の写真も山本さん撮影のものです。

また、「スポーツのひろば」5月号の裏表紙には中岡滉の写真（全国競技大会の際のもの）が載っています（上から2段目右）。最近、和歌山スキー協も全国的に？

発行責任 中岡 大（和歌山県勤労者スキー協議会 事務局）

648-0003 橋本市隅田町山内 1017 TEL 0736-36-8452 携帯 090-7873-3603

E-mail dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp

和歌山スキー協ホームページ <http://spowaka.sakura.ne.jp/ski/>